

令和 6 年度埼玉県障害者施策推進協議会の進め方等について（案）

1 協議会・ワーキングチームの開催回数及びスケジュールについて

- ・協議会 3 回、ワーキングチーム 3 回。
- ・年間スケジュールは、昨年度の第 4 回協議会で提示した案のとおりとする。
（現行計画策定時の 1 年目、2 年目の年間スケジュールに準じた進行）

2 ワーキングチームの編成と担任分野について

- ・各チームの担任分野及びチームリーダーは、前年度を維持する。

A チーム（佐藤リーダー）：○障害者への理解促進と差別解消 （彩の国いろどりライブラリー運用上の課題検討を含む）
B チーム（遅塚リーダー）：○障害者の地域生活の充実・社会参加の支援 ○障害者の就労支援
C チーム（岩崎リーダー）：○共に育ち、共に学ぶ教育の推進 ○安心・安全な環境整備の推進

- ・上記について、第 1 回協議会で了承を得た上で所属チームの希望調査を 1 週間程度で実施し、第 1 回ワーキングから新たなメンバー構成で協議を行う。
所属チーム以外のチームへの参加も可とする。
- ・検討 2 年目（令和 7 年度）当初におけるワーキングチームのメンバーの総入れ替えについては、2 年目に委員改選が行われることも考慮しつつ、今年度における課題の抽出状況などを見ながら、委員の意見も踏まえて事務局において入れ替えの要否を決めることとする。

3 第 8 期計画の策定に向けた重点課題の検討について

昨年度の第 4 回協議会における意見を踏まえ、以下のとおりとする。

（1）課題の抽出方法について

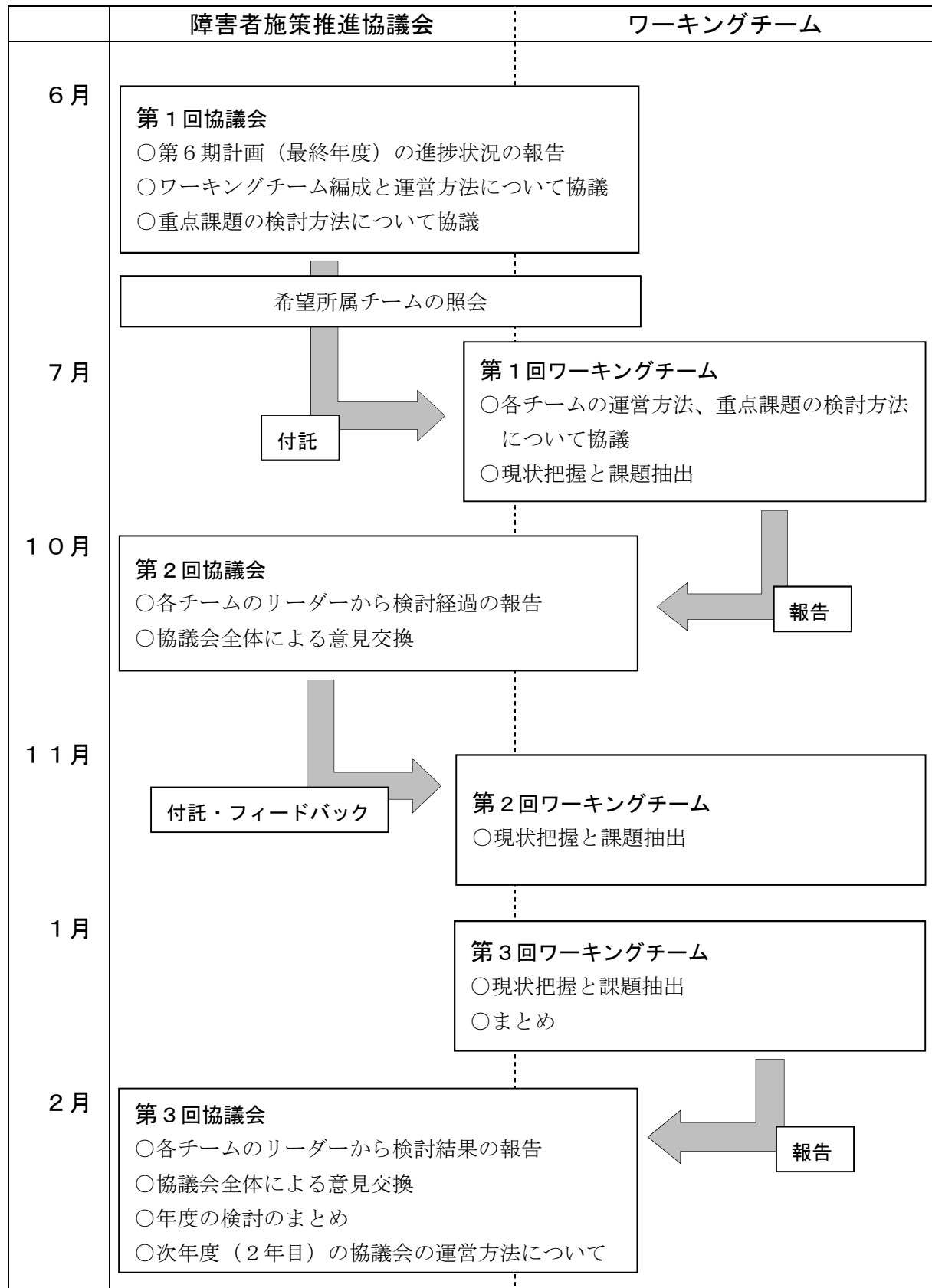
- これまでの協議会における各委員からの意見
- 障害者団体ヒアリングにおける意見
- 県民コメントにおける意見 など

⇒ 事務局において論点を抽出し、第 1 回協議会で案として提示。
第 1 回ワーキングチームにおいて検討。

（2）検討の進め方

⇒ 抽出した課題に係るモニタリング資料（資料 1-1～1-5）の確認、分析及び評価などを行う。

令和6年度協議会の運営イメージ



※ 令和7年度（2年目）も同じサイクルで協議を行うが、重点課題のまとめ＝「第8章 提言」の作成が目標になる。

第8期計画の策定に向けた3年間のワーキングチーム運営イメージ

【令和6年度】

●Aチーム

課題1:障害者への理解促進と差別解消
(彩の国いろどりライブラリーの運用上の
課題検討を含む)

●Bチーム

課題2:障害者の地域生活の充実・社会参加の支援
課題3:障害者の就労支援

●Cチーム

課題4:共に育ち、共に学ぶ教育の推進
課題5:安心・安全な環境整備の推進

①新たにチーム編成を行う。

②施策の「5つ大柱」に沿って、
現状把握及び課題抽出を行う。



【令和7年度】

●Aチーム

課題1:障害者への理解促進と差別解消
(彩の国いろどりライブラリーの運用上の
課題検討を含む)

●Bチーム

課題2:障害者の地域生活の充実・社会参加の支援
課題3:障害者の就労支援

●Cチーム

課題4:共に育ち、共に学ぶ教育の推進
課題5:安心・安全な環境整備の推進

①協議会においてメンバー入れ替
えの可否を検討する。

②施策の「5つの大柱」に沿って、
現状把握及び課題抽出を行う。
⇒ 第8章「提言」の作成



【令和8年度】計画策定年度

●Aチーム

課題1:障害者への理解促進と差別解消
(彩の国いろどりライブラリーの運用上の
課題検討を含む)

●Bチーム

課題2:障害者の地域生活の充実・社会参加の支援
課題3:障害者の就労支援

●Cチーム

課題4:共に育ち、共に学ぶ教育の推進
課題5:安心・安全な環境整備の推進

①チーム編成の見直しは行わない。

②施策の「5つの大柱」に沿って、
課題に対する対応策を検討する。
⇒ 第8期計画の策定